

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出（施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に）															ふんと記載項目（満足度／子ども参加率）							
大分類	小分類	事業名	連携・共催・協力・助成等	開催日・会場等	R4当初計画 基本方針	R4当初計画 事業目的	R3 実績	R4 実績	R5 予算	R5 実績	R5終了時に記入 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R6 方向性	R6 予算	市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート				R4満足度	R4子供率	R5満足度	R5子供率
							記入項目 実績									R1	R2	R3速報値				
1	1	伊賀華道協会いけばな展 はな 花 華 ～つながるあすへ～	・伊賀華道協会と共催	4/1～2 伊賀市文化会館	1-I 2-I 3-I 3-II 4-II 7-I	伝統的な和文の象徴である「華道」を学ぶ者たちの発表の場。伊賀で活動する9流派の約100人が出版し、「いけばな」の素晴らしさを伝える。	参加者数 開催数 開催経費 収入		600人 1 — 50,000円	600人 1 72,270円 98,020円	華道協会各流派の力作が会場を彩った。約100人もの華道家の作品を鑑賞できる会場が市内には文化会館しかなく、会員たちにも喜ばれた。	単発		6-3 文化・芸術	満足度 参加度	43.2% 44.6%	64.6% 55.7%	57.3% 33.9%	—	—	—	—
1	2	春の通常展 やさしい水墨画 穂月明傑作選	・青山讃頌会協力	4/21～5/21 青山讃頌会	1-I 4-I	心惹かれる水墨画を描き続けた穂月明氏の作品をテーマを決めて展示。身近に文化芸術に触れる機会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		400人 1 402,000円 15,000円	197人 1 180,603円 4,200円	期間中のイベントで行ったハイキング「あおやま川上湖をめぐる」は好評で小学生の参加もあったが、現地集合のため展示会場で観覧してもらう事ができなかったのが残念。	通常展						—	—	—	—	
1	3	上田保隆展 福朗—FUKURO—	・青山讃頌会協力	6/2～7/2 青山讃頌会	1-I 2-I 3-II 5-I	「泉の画家」と呼ばれた伊賀市の画家、上田保隆氏の遺作を展示し、市民に豊かな感性と感動をもたらす場にしたい。	参加者数 開催数 開催経費 収入		400人 1 254,000円 15,000円	344人 1 219,666円 0円	上田保隆氏フクロウ絵画と陶器を展示し、見ごたえある企画展となった。また、森をイメージして照明を暗くした事で、いつもと違った見方で作品を鑑賞する事ができ、深みを感じられた。	単発						—	—	100.0%	0.0%	
1	4	伊賀☆グリオ生誕15周年記念イベント「いちごいちえ」 ご当地キャラフェスタin伊賀2023	・実行委員会と共催 ・日本ご当地キャラクター協会協力	6/3 伊賀市文化会館	1-I 2-I 3-I 4-I	伊賀市のご当地キャラ・いが☆グリオの15周年を大勢のご当地キャラとともに祝い、キャラとの触れ合いやゲームなどを通して、文化ホールへの馴染みを深める。	参加者数 開催数 開催経費 収入		2,000人 1 1,042,000円 300,000円	3,000人 1 1,912,755円 171,000円	いが☆グリオをはじめとする様々なご当地キャラクタの参加、地域にある多数の店の出店等によって一日を通した賑わい空間を造ることができ、総合的イベントとして予想以上の来場者を迎えることができた。	単発						—	—	—	≒25%	
1	5	TAIRIKIプロデュース 古澤蔵の品川カルテット	・イベントとの共催	6/28 伊賀市文化会館	1-I 2-I 2-II	平日開催で且つ、アーティストとの共催、300名限定で生演奏を鑑賞してもらおう。乳幼児入場可の「お昼のフリーコンサート(無料)」と併せ、幅広い年代に演奏機会を提供する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	367人 2回 210,000円 374,000円	385人 2回+1回 426,806円 532,244円	330人 2 435,000円 501,000円	目標の450人には少し届かなかったが、前年度と比較すると73人増。特にお昼のフリーコンサートは平日にも関わらず来場者を含む95名が来場し、プロの生演奏を聴くことができたと大変喜んでいただけた。	検討	330人 2 523,000円 484,000円					93.2%	8.5%	99.5%	11.0%	
1	6	吉本新喜劇&バラエティin伊賀		7/9 伊賀市文化会館	1-I	コロナ禍で様々な自粛を強いられた市民の方々に、笑顔と笑いを届ける公演。	参加者数 開催数 開催経費 収入		1,600人 2 7,200,000円 7,200,000円	1,488人 2 7,213,121円 6,913,970円	若者男女を問わず多くの市民が楽しんでくれた。出演者の決定が速くチケット発売まで周知期間が短かったが、マスメディアやSNSで宣伝し、目標に近い集客ができた。	単発						—	—	97.7%	18.0%	
1	7	夏の通常展 ちょっと笑えるアート展	・青山讃頌会協力	7/14～8/27 青山讃頌会	1-I 2-I 5-I	穂月明氏の作品をテーマ別に紹介する通常展。本物以上に美しく描かれた絵、怖い神様を可愛く描くなど、ユーモラスな部分に焦点をあてた展覧会。	参加者数 開催数 開催経費 収入		400人 1 254,000円	245人 1 169,834円	開催期間が夏休み中のため、家族で楽しめる企画にした。絵を観ながら謎を解いたり、竹とんぼや紙飛行機の工作WSを開催し、子どもたちが会場を知る機会となった。	通常展	300人 1 370,000円 0円					—	—	100.0%	8.2%	
1	8	クラシックのいろは2023 ロマン派音楽の楽しみ ～ロマン派音楽の名曲に迫る～	・大和ハウス工業特別協賛 ・岡波総合病院事業協賛	7/17 12/2 2/4 伊賀市文化会館	1-I 2-I 3-I 3-II	市民の暮らしにクラシック音楽が定着する事を目的に、8年目を迎えた。ロマン派音楽にスポットをあてて、ホール公演や事前録クチャー、三重唱りの音楽家たちによるコンサート等多角的に開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,378人 3回 5,976,025円 3,861,300円	998人 3回 9,984,343円 7,537,330円	1,500人 3回 152,650,000円 106,930,000円	当協会の主幹事業として今後も継続開催する。10年目を迎える2024では、指揮者の等身大ポスターや開演へのメッセージボードを設置し、音楽家たちへの親近感や観客満足度の充実を図る。	継続	1,300人 3回 14,000,000円 10,998,000円				99.0%	4.0%	97.7%	1.3%		
1	9	鳥居先生による なるほど～クラシック～ (クラシックのいろは付随事業)		7/8 11/19 1/28 伊賀市文化会館	1-I 2-I 3-I 3-II	クラシックのいろはの各公演を前に、伊賀オーケストラの鳥居明夫が各公演の楽曲などをわかりやすく解説する無料音楽講座。	参加者数 開催数 開催経費 収入		93人 3回 —	105人 3回 —	毎回新しい顔ぶれが訪れるようになり、僅かだが親子の姿も見られるようになった。これ以上参加者があると、会場の課題が浮上する。	継続						98.0%	4.2%	100.0%	5.0%	
1	10	クリエイティブフェスタin伊賀市文化会館	・フェスタ事務局と共催	7/23 12/23 伊賀市文化会館	1-I 3-I 3-II 7-I 4-II 2-I	伊賀市文化会館のホワイエ等の空間を活用した手作りのフェスタ。作家の思いやその作品に触れ、制作体験することで自分の感性や感情に目覚めることを目指す。実行委員会との共催。	参加者数 開催数 開催経費 収入		449人 1回 24,503円 72,150円	1,600人 2 56,000円 130,000円	決まった時間にメイン会場で1～2回、即興パフォーマンスや抽選会などを行うことで、イベントが単調にならず来場者がより楽しむことができると感じた。	継続	1,000人 1 23,000円 70,000円					—	—	—	—	
1	11	秋の特別展 中野英一遺作展 魂の相対		9/8～10/9 青山讃頌会	1-I 3-II 5-I	伊賀市出身の画家、中野英一(故人)の画業を紹介し、市民が多彩な文化芸術に触れる機会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		300人 1 232,000円	388人 1 187,788円 25,200円	提調庵や三筆画廊との3会場で作品を展示したため、鑑賞者が色んな会場を訪れる機会となり、より深く作家とその作品に触れてもらえたと思う。	単発						—	—	94.1%	3.0%	
1	12	大人のための図書館体験	・上野図書館が共催	9/24 上野図書館	2-I 2-II 7-I	大人向けにバックヤードの見学をするなどして図書館の仕組みを知り、本を活用して人生の楽しみを見つける提案をする事業。	参加者数 開催数 開催経費 収入		30人 2回 31,000円 0円	12人 2回 9,891円 0円	バックヤード見学に気軽に参加してもらえよう、単独で実施したり、学校の勉強の延長線と取れないようなお楽しみを添えるなど、集客につなげる工夫が必要。							—	—	—	0.0%	
1	13	Friday Night Concert 懐かしのメロディーを愉しむ秋の夜長	・伊賀芸術文化協会と共催	10/13 伊賀市文化会館	1-I 3-II	伊賀芸術文化協会との共催。地元を中心とした音楽家たちによる秋を連想させる懐かしのメロディに耳を傾け、週末の夜を豊かに過ごすコンサート。	参加者数 開催数 開催経費 収入		150人 1 50,000円 32,000円	107人 1 24,610円 14,050円	平日、金曜の夜開催で比較集まりやすいかと考えたが、市内で複数イベントが競合しており、来客数が思ったほど伸びなかった。	単発						—	—	97.7%	0.0%	
1	14	秋の通常展 流水頌歌 穂月明展 穂月明最後の思い	・青山讃頌会協力	10/21～12/25 青山讃頌会	1-I 4-I	伊賀の自然や歴史を愛した穂月明氏の作品をテーマを決めて展示。会場を市民が身近に分かち合える芸術に触れられる場とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		400人 1 402,000円 30,000円	450人 1 193,453円 19,200円	開催期間が長かった事や紅葉時期であったことから、行楽目的で来館する人もたくさんいた。また、企画展として「歴史探訪ウォーキング」や「いがぶら」が開催された事もあり、入場者数が伸びた。	通常展						—	—	100.0%	0.0%	
1	15	リラックスタイムコンサート 演奏家と過ごす素敵なひととき		10/23 伊賀市文化会館	1-I 4-II 5-II 7-I	様々なジャンルの音楽とその演奏家を身近に感じ、気軽に楽しめるコンサートとして初開催。ホワイエの利活用にもつなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入		60人 2回 244,000円 30,000円	40人 2回 464,896円 68,500円	参加者数は目標より下回った。周知期間が短かったことが原因と考えられる。初演者ということもあり初観客として消費品などの準備物に経費がかかった。課題としては徹底した周知と、定員を増やし参加者数の増加を図る。	継続	100人 2回 552,000円 150,000円					—	—	100.0%	0.0%	
1	16	岸宏子記念伊賀文学館 オープニングイベント	・東洋文化資料館青山讃頌会協力 ・伊賀市と共催	12/2 岸宏子記念伊賀文学館	1-I 3-II 5-II	伊賀の自然や風景を愛し、心惹かれる情景を描いてきた穂月明の西国三十三所(霊場)作品と仏像スケッチを公開し、市民に芸術や歴史に触れる機会を提供する。	参加者数 開催数 開催経費 収入		20人 1回 106,000円 10,000円	9人 1回 0円 300円	伊賀市と共催で行ったが、施設の特性から多くの人が入場できるイベント実施が難しい。駐車場の不足や来場者が座るスペース確保などの課題がある。	単発						—	—	—	—	
1	17	NHKのど自慢	・NHK、伊賀市と共催	12/9～10 伊賀市文化会館	1-I 7-I 3-II	国民的番組のNHKのど自慢を開催し、地域の活性化につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入		1 1 1,400,000円	1,458人 1 155,100円 0円	前回のど自慢では開催目前でコロナ感染予防対策のため中止となり、市民の皆様には迷惑された反動から、準備から予定・本選を終えることができた。							—	—	—	—	
1	18	伊賀市文化会館1日映画館 最新作をホールで上映	・イオンシネマと共催	12/24 伊賀市文化会館	1-I 2-I 2-II 4-II	伊賀市から映画館がなくなって5年が経過した。たくさんの方が映画に親しめるよう、ホールでの上映を実施する。	参加者数 開催数 開催経費 収入		2,000人 2 1,165,596円 592,000円	669人 2 855,596円 156,260円	周知期間が短かったがSNSや広告でいつも以上にPRし、来場者は映画館を上回る結果となった。映画鑑賞を楽しみにしている、希望している市民がたくさんいる事が分かり、これからも続けるべきと感じた。	継続						—	—	100.0%	38.3%	
1	19	津軽三味線 輝&輝(KIKI) 新春コンサート		1/14 青山ホール	1-I 2-I	日本の伝統楽器、津軽三味線による新春コンサート。多くの市民に音楽や楽器の可能性や感動を覚えてもらいたい。	参加者数 開催数 開催経費 収入		150人 1 450,000円 150,000円	269人 1 530,987円 265,700円	目標来場者数を100人超え上回った。アーティストが誰かという事より、実力ある津軽三味線の演奏が見えたかった・聴きたかったお客様が多い、と感じた。	単発						—	—	99.2%	2.2%	
1	20	宝くじ文化公演 渡辺真知子・秋川雅史ハートフルコンサート		2/12 伊賀市文化会館	1-I	豊かな音楽性と確かな技術に裏付けされた出演者によるコンサート。伝統楽器による音楽の可能性や感動を覚えらるる事業とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		NHKと打合せ 1 357,000円 1,150,000円	1,144人 1 382,123円 1,193,036円	宝くじ文化公演は毎年採択されないが、引き続き申請し安価な入場料設定で且つ実施主催者において経費の負担が無い事業の展開を目指す。							—	—	99.1%	1.0%	
1	21	春の企画展 春を楽しむ 穂月明の花と新緑		3/8～4/7 青山讃頌会	1-I 4-I	伊賀の自然を愛し、心惹かれる情景を描いた穂月明氏の作品を展示し、市民に身近に文化芸術に触れてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入		300人 1 223,000円 入場料	242人 1 375,523円 14,800円	初瀬街道祭りが行われた日を臨時開館としたところ、大勢の来場者があった。当館を知らず訪れた人にも施設を知ってもらう機会となった。	企画展						—	—	97.0%	3.0%	
1	22	第19回伊賀市民美術展覧会 市展「いが」	・伊賀市と共催	3/20～24 伊賀市文化会館	1-I 2-I 2-II 3-I 4-I	市民文化の向上を目指す公募展として毎年開催。今回も4部門の作品展示に加えて、コンサートや絵画ワークショップを同時開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1043人 1回+WS 1,007,849円 102,000円	991人 5日間+WS 906,577円 103,000円	1500人 1 910,000円 97,000円	悪天候の影響からか目標来場者数を下回ったが、前年度より若干上回った。会場に椅子を設置して欲しいという意見をもとに、仮設スペース内に椅子を設置。一方で、ギャラリーコンサート中に鑑賞できないという意見があった。	継続						—	5.4%	96.1%	6.0%	

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

【資料3】 2024年6月10日現在

1	23	最強！歌まねジョイントライブ 荒牧陽子×Mr.シャチホコin伊賀		3/31 伊賀市文化会館	1-I 1-II	抜群の歌唱力と本人そっくりの歌声を聴き、笑いや感動を届ける事業としたい。	参加者数 開催数 開催経費 収入	900人 1 4,412,000円 3,960,000円	1,113人 1 4,651,728円 4,957,450円	目標来場者数を大幅に上回ることができ、笑いや感動を届ける事業として大変喜ばれた。電子チケットでの購入者が多く、今後の活用に大変参考となった。	単発							—	—	集計中	集計中
1	24	タッチ・ザ・スタインウェイ (青山ホール)		5月～3月 青山ホール (計5回)	1-I 2-II 4-I	ふだん触れることがない音楽ホールのピアノ・スタインウェイを一般開放し、気軽にピアノに親しんでもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	68人 5回 10,224円 34,000円	37人 5回 4,840円 18,500円	ワンコインでスタインウェイを弾けるということで、開催を心待ちにする人が多く、今後も継続する。これまで土日の開催だったが、次年度から平日の夜間開催を試みる。	継続	60人 5 7,000円 30,000円						100.0%	8.3%	100.0%	17.0%
1	25	タッチ・ザ・スタインウェイ (あやま文化センター)		6月～3月 あやま文化センター(計6回)	1-I 2-II 4-I	普段触れることがない音楽ホールのピアノ・スタインウェイを一般に開放し、気軽にピアノに親しんでもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	66人 5回 11,617円 33,000円	80人 5回 1,727円 47,000円	人気のイベントで受付初日に全枠が埋まることも多かった。R5年度を以てのホール閉館に伴い、新たな会場に伊賀市文化会館を加えて事業を継続していく。	継続(R6からは伊賀市文化会館で)	60人 5 7,000円 30,000円						100.0%	8.3%	100.0%	10.0%
1	26	ステージひとはじめ (青山ホール)		5月～3月 青山ホール (計2回)	1-I 2-II 4-I	ピアノ愛好者ばかりではなく、管弦打楽器の愛好者たちにもホールのステージを練習会場として開放し、技量アップやステージの感覚を味わってもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	66人 5回 10,224円 34,000円	37人 5回 4,840円 18,500円	反響板設置のホールでスタインウェイの響きを楽しめ、他の楽器を持ち込んでよい本事業は毎回好評を得ている。次年度には休日と平日で開催を実施を試みる。	継続	14人 2 7,000円 12,000円						100.0%	8.3%	100.0%	8.2%
1	27	ステージひとはじめ (あやま文化センター)		6月～3月 あやま文化センター(計2回)	1-I 2-II 4-I	ピアノ愛好者ばかりではなく、管弦打楽器の愛好者たちにもホールのステージを練習会場として開放し、技量アップやステージの感覚を味わってもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	68人 5回 11,617円 33,000円	80人 5回 1,727円 47,000円	ホールの舞台上に様々な楽器を持ち込み、1時間枠の2中で自由に演奏が出来る本事業は毎回好評。来年度は伊賀市文化会館と青山ホールの2ホールで開催する。	継続(R6からは伊賀市文化会館で)	12人 2 7,000円 12,000円						—	—	—	—

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充（施策の方向Ⅰ 子どもたちの心を豊かに、Ⅱ 成長に即した文化芸術の提供）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ（施策の方向Ⅰ 入つくりとまちづくり、Ⅱ 多様な人材活用による文化芸術の振興）																			
大分類	小分類	事業名	開催日・会場等	プラン 基本方針	R4当初計画 事業目的	R2 計画時 参加者数 開催数 開催経費 収入	R3 実績 参加者数 開催数 開催経費 収入	R4 実績 参加者数 開催数 開催経費 収入	R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性 継続	市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート R1 満足度 参画度	R2 R2 67.2% 52.4%	R3 R3達成率 63.5% 37.4%	R4 R4満足度 82.0%	R4 R4子供率 3.0%	R5 R5満足度 94.7%	R5 R5子供率 1.7%	
3	1	第42回新人演奏会inいが	4/3 伊賀市文化会館	1-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	大勢の前で音楽を披露することで出演者の励みとすると共に、当協会の文化まちづくり事業等への活動機会を提供し、地域の文化芸術振興の担い手となつてもらうことを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	273人 1回 410,000円 661,000円	347人 1回 354,582円 346,700円	参加者が当日になつて2人欠場となり、来場者数も予定より少なくなつた。伊賀市出身の出演者が多く、お客様から演奏家への激励の言葉や感謝をいただき、よりよい演奏会を実施できたと思う。		6-4 歴史・文化 遺産	満足度 参画度	58.8% 36.3%	67.2% 52.4%	63.5% 37.4%	82.0%	3.0%	94.7%	1.7%
3	2	第33回青山推薦コンサート	・コンサート実行委員会協力	4/16	1-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ	地域の音楽家や音楽家を志す人たちに、日頃の研鑽の発表の場として開催。若い音楽家の飛躍の姿を	参加者数 開催数	248人 1回	270人 1	ご家族で来場する場合があるため未就学児を1人単位で集めることが難しい。そのため、	継続				100.0%	2.0%	100.0%	0.1%	

【資料3】 2024年6月10日現在

【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備（施策の方向Ⅰ 施設の管理と機能の発揮、Ⅱ 施設の保存と有効活用）																													
大分類	小分類	事業名	開催日・会場等	プラン 基本方針	R4当初計画 事業目的	R2 計画時	R3 実績	R4 実績		R4 目標達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性	市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート																
													R1	R2	R3達成率	R4満足度	R4子供率	R5満足度	R5子供率										
4	1	石原健哉 花火写真展 世界に羽撃く	4/8～18 崇広堂	1-I 4-II 3-II 5-II	伊賀市在住の写真家、石原健哉の表現する「花火」をテーマとした作品展。地域で活動する芸術家とその作品を周知し、市民文化の新興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入		600人 1 126,000円 10,000円	359人 1 126,045円 58,965円	独自の技法で撮影した花火の写真は見てごたえがあり、子どもたちにも観て感じてもらえるような内容だったと思うが、来場者は大人がほとんど。今後の課題として、どのような広報が有効と考えねばならない。	単発					—	—	98.0%	1.0%										
4	2	AKAIKE ART GALLERY 2023 ガラス作家 幸小葉個展 紡ぐ硝子	4/15～23 赤井家	1-I 4-II 5-II	伊賀市出身のガラス作家、幸小葉さんの表現する創造性豊かな作品を展示販売し、地域住民の感性を豊かにする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		600人 1 145,000円 30,000円	790人 1 148,507円 14,000円	作家が制作する繊細なガラス作品の数々が観る人を釘付けにした。制作過程の様子を作成してもらった作家の動画を会場で流し、来場者に作品の魅力を伝えることができたと思う。	単発					—	—	100.0%	6.8%										
4	3	季節のうつろい二章	4/19～23 入交家	1-I 2-I 3-II 4-II 6-I	会場の牡丹の満開期に合わせて開催。日本画家・津田親重の日本画作品を展示し、ミニコンサートなどを併催。施設の認知度を高める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	603人 1回 172,263円 19,000円	200人 1回 225,000円 15,000円	490人 1回 184,827円 14,000円	日本画の作品鑑賞と、作家と直接交流ができる機会が喜ばれた。牡丹の名所として人交家を知ってもらう機会となった。小学生対象のワークショップ等多媒体に催したが、来場者は大人が多く、今後の周知方法を考える。	継続	200人 1 227,000円 14,000円				93.0%	4.0%	98.6%	2.8%										
4	4	光のART展Ⅸ 光と影 ～SHADOW～	4/29～5/7 崇広堂	1-I 3-I 4-II 5-II	歴史情緒あふれる旧藩校の和の空間を活用し、様々な素材と造形の作品が光と陰で彩られるアート空間を楽しんでいただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	600人 1回(8日間) 935,000円 10,000円	1,094人 1回(7日間) 1,139,844円 24,000円	1,000人 1回 956,000円 1,145,694円 333,780円	全国各地で活躍するアーティストや、富山市ガラス造形研究所の卒業生の作品を集められた展覧会となったが、継続事業のため来客が減少したことが課題。	継続	900人 1 999,000円 10,000円				98.0%	2.0%	—	—										
4	5	すうこうどう茶席 Vol.28 Vol.29	5/13 10/8 崇広堂	1-I 3-I 4-II	我が国独特の芸能である落語を身近な距離で鑑賞することにより落語特有の仕草や表情など、生の芸を楽しんでいただき、落語ファンの定着を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	66人と35人 2回 206,000円 52,000円	86人・65人 2日間 478,882円 164,000円	140人 2回 491,000円 140,000円	2 高年齢の参加者が多いため、子どもや若者の層にも落語の魅力を感じてもらえる内容を検討する。	継続	140人 2回 491,000円 140,000円				100.0%	3.0%	96.0%	0.0%										
4	6	AKAIKE ART GALLERY 2023 ZUVALANGA African Wire&Beads Art展	5/19～28 赤井家	1-I 3-I 4-II 5-II	アフリカンワイヤ&ビーズ作家のZUVALANGAさんの作品を展示。併せて文化財施設の利活用を推進する。	参加者数 開催数 開催経費 収入		500人 1 150,000円 10,000円	991人 1 190,750円 113,140円	身近なビーズを数千個ほど使った巨大作品は、アートとしての魅力を知るだけでなく、アフリカ地域ではビーズ作品で生計を立てているという話や制作過程を見聞し、イベントをより深く感じられる機会となった。	単発					—	—	99.7%	10.3%										
4	7	大平和正×中村ミナト 一磁場の共振ー	5/20～6/18 崇広堂	1-I 4-II 3-II 5-II	伊賀市在住の彫刻家、大平和正氏と横浜市の彫刻家、中村ミナト氏が表現する「異質」のコラボ展。ふだん目に見えない大型で優れたアート作品を展示する。	参加者数 開催数 開催経費 収入		600人 1 1,492,000円 150,000円	464人 1 1,551,238円 119,500円	彫刻家2人による巨大作品の展示は過去最大の幻想的な空間展示となり、来場者を魅了した。入場料を徴収したが、来場者が普段の展覧会の半程度に留まった。今後の参考にしたい。	単発					—	—	98.9%	0.0%										
4	8	グラウンドゴルフ 城之越Springカップ 城之越Autumnカップ 気軽に楽しく古代道跡でグラウンドゴルフ	5/29,31 10/2,4 3/13,15 城之越道跡	1-I 4-II 7-I	緑あがる古代道跡を活用し、グラウンドゴルフを通じて市民の健康・スポーツ推進はもとより、参加者みなさんのふれあいの場として交流を促進する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	132人 2日間 71,153円 66,000円	164人 2日間 85,793円 82,000円	540人 6日間 270,000円 270,000円	今回は定員より多くの応募があったが、会場の広さ考えると限界もある。会場に集まることで、参加者のふれあいの場としたい。	継続					93.0%	0.0%	97.0%	0.0%										
4	9	大平和正「風還元／茶碗」 茶碗は彫刻Ⅳ	6/3～18 入交家	1-I 3-I 4-II 5-II	伊賀市在住の彫刻家、大平和正氏が表現する「風還元」シリーズの茶碗の彫刻作品を展示し、地域住民の感性を豊かにする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		500人 1 166,000円 10,000円	324人 1 99,150円 —	地元の彫刻家による「茶碗」のみの展示で、入交家の和の空間にマッチした。茶道文化が衰退する中、これらの伝統文化を次世代に繋ぐ取り組みを今後も模索していきたい。	単発					—	—	100.0%	0.0%										
4	10	生活工芸展2023	7/22～8/6 崇広堂・入交家	1-I 3-I 4-II 5-II	全国で活躍する工芸作家の作品を一堂に集めた企画展。現代的な暮らしに寄り添う生活工芸品の数々が、人々に潤いや安らぎを与える。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,305人 1回 646,978円 323,086円	1,407人 1回 681,458円 384,974円	1,300人 1回 672,000円 300,000円	会場を2施設にすることでより多くの人に観に来てもらえた。街中散策の機会にもつながり、そういった目的を踏まえこれからも色々な人に来場いただけるような工夫をしたい。	継続	1,500人 2会場 788,000円 300,000円				97.7%	0.0%	99.0%	10.0%										
4	11	真夏の夜のステンドグラス展Ⅴ	8/11～20 崇広堂	1-I 3-I 3-II 4-II	伊賀地域や全国で活躍するステンドグラス作家の協力を得て、市民にアート作品や展示空間を楽しんでもらう機会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,739人 1回 278,732円 50,107円	1,000人 1回 300,000円 30,000円	1,695人 1 288,002円 40,350円	在廊の作家が来場者の疑問や質問に答えることとあるが、予めどんな技法で制作しているのかなどのパネル表示があると分かりやすいと感じた。	継続	1,000人 1,000人 311,000円 30,000円				99.3%	3.7%	100.0%	0.0%										
4	12	AKAIKE ART GALLERY 2023 結城春樹 皮革作品展	8/19～28 赤井家					600人 1 150,000円 10,000円	268人 1 144,533円 157,125円	作家が常駐して革作品に対する思いや魅力を来場者に伝えていた。色々な種類の革の素材の違いを展示したり、実際に触ることができるなどの工夫があれば興味や関心度が増すと感じた。	単発					—	—	—	—										
4	8	和紙と墨と筆と	8/26 12/9 入交家	1-I 2-I 2-II 4-I 6-I	入交家住宅の横に水墨画を描くイベントを企画し、施設の認知度を高める。小学生のワークショップも開催し、文化芸術への興味関心を高める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	585人 1回 211,354円 246,730円	100人 2 158,000円 0円	87人 2 207,318円 0円	2 横に水墨画を描くイベントとして開催。滅多に見ることのできない横線の工程に大変喜ばれた。完成後の横の展示活用と周知を考えていく。	単発					98.7%	5.9%	100.0%	50.0%										
4	13	百鬼丸の切り絵展in伊賀	9/15～24 崇広堂	1-I 3-I 4-II 5-II	百鬼丸が表現する創造性豊かな立体切り絵の作品を展示販売し、優れた芸術作品に触れることで感性を豊かにしてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入		5000人 1 420,000円 50,000円	670人 1 413,924円 27,940円	横断な切り絵を組み合わせ、真田十勇士など歴史人物の大きな切り絵(3m)の作品に来場はうっとりした様子で見えた。お客様の目の前で即興切り絵パフォーマンスがあり、参加者は繊細な切り絵の世界を楽しむことができたようだった。	単発					—	—	96.9%	2.1%										
4	14	万華鏡展2023in IGA History&Evolution	10/13～22 赤井家	1-I 2-I 3-I 4-II	全国で活躍する万華鏡作家40名による創造性豊かな万華鏡作品を展示し、千変万化の優れたアート作品を見ることで感性を豊かにし、地域住民の芸術文化の振興を図ることを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		1,000人 1 645,000円 160,000円	1,341人 1 + 1 669,933円 169,656円	1 様々な材料を入れることで、千変万化の景色が広がる。珍しい万華鏡が多く、中を覗き込んで興味深々したり、「万華鏡ができるまで」の映像の視聴や、創作体験を通して万華鏡の面白さを感じてもらえた。	単発					—	—	99.6%	5.6%										
		・伊賀陶芸会と共催		1-I 3-II	文化財施設の有効活用を図り、市民に伝統工芸や	参加者数		800人	581人		単発																		

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

【資料3】 2024年6月10日現在

4	15	伊賀陶芸会展	・伊賀華道協会、高校茶道部が協力	10/14～22 崇広堂	4-II 5-II	アート作品による空間を楽しんでもらう。伊賀陶芸会から19人の作家が出展し、伊賀華道協会が協力する。	開催数 開催経費 収入	1 126,000円 50,000円	1 222,312円 99,350円	陶芸会や華道協会、高校茶室部と協力した展示会となったが、来場者が目標に届かなかったのが課題。今後も伝統文化振興の一環として続けていきたい。					—	—	95.8%	2.0%	
4	16	四代目・玉田玉秀斎 講演「忍者の物語」		10/14 崇広堂	1-I 2-I 4-II 5-II	伝統芸能の講話の魅力を地域住民に伝え、深く知ってもらうことで芸術文化の信仰を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	80人 1 280,000円 80,000円	63人 1 232,057円 72,000円	来場者にテーマに沿ったお話を事前投票してもらい、講話師が投票用紙を一枚ずつ引いて物語を作るというスタイルだったので、飽きることなく楽しめたようだ。	単発				—	—	100.0%	2.5%	
4	17	旧小田小学校本館企画展 思い出の図工室展 (子ども陶芸体験)		11/1～30 旧小田小学校本館	1-I 2-I 4-II 5-I 7-I	様々な世代の人に旧小田小学校本館(県文化財)を知ってもらい、来館者増に繋げる。今回は図工室をテーマに各種教材などを紹介。特別体験授業も行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	391人 1回 36,414円 入館料のみ	144 1回 48,580円 入館料のみ	300名 1+1 93,000円 入場料	165人 1+1 67,391円 入場料+15000円	昔懐かしい図工教材を見て触れて楽しんでもらえた。体験授業は子どもたちに焼き物づくりを通して伝統文化に触れてもらうことができた。	継続			95.0%	15.0%	—	—
4	18	チェンパロの魅力 標題付き音楽で楽しむ		11/12 崇広堂	1-I 3-I 4-II	繊細な音色、クラシカルな装飾が特徴のチェンパロのとその音楽の魅力を、文化財施設で多くの市民に親しくしてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	70人 1 341,000円 70,000円	68人 1 303,662円 70,000円	演奏者の固定ファンがいるものの伊賀地域の来場者が少なく、集客方法を考えてなければならない。また、このイベントだけでは集客が少ないので展示イベントを並行して行えば集客が図れるのではないかと。	中止				—	—	—	—	
4	19	「迎春」 寄せ植えて愉しむお正月飾り		12/16.17 赤井家	1-I 3-I 4-II	山野草や季節の草木の身近な寄せ植えの魅力を、体験によって多くの人々に感じてもらうことを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	44人 1回(2日間) 13,364円 5,000円	32人 1回(2日間) 15,591円 5,000円	寄せ植えの内容(鉢や素材等)が定番化しており、参加者も固定化されたように思う。新規の人や若年層にも参加いただける内容が必要だと思う。				100.0%	0.0%	—	—		
4	20	AKAIKE ART GALLERY 2023 硝子細展Ⅷ		2/3～12 赤井家	1-I 2-I 3-I 4-II 5-II	約30人のガラス作家が様々な技法を駆使した硝子細を展示。ガラスが織り成す芸術に親しくしてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,300人 1回 238,025円 197,590円	1,300人 1(10日)回 298,025円 161,185円	800人 1回 248,000円 150,000円	2014人 1 247,233円 307,639円	本展は定着したイベントで毎年、沢山の問い合わせや来場をいただいている。特に18歳以下の来場者の割合が多く、お隣様作品を見ながら家族で会話やむ姿が見られた。	継続			96.0%	15.0%	98.9%	2.6%

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造（施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造）																	ぶんと記載項目（満足度／子ども参加率）					
大分類	小分類	事業名		開催日・会場等	プラン 基本方針	R4当初計画 事業目的	R2 計画時	R3 実績	R4 実績		R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性		市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート				R4満足度	R4子供率	R5満足度	R5子供率
															R1	R2	R3速報値					
5	1	第40回上野城芸能	・実施委員会に参加	9/30 上野城特設舞台	1-Ⅰ 3-Ⅰ 5-Ⅰ	県内在住の能楽師による本格的な能公演として開催。上野城をバックにした芸能により、能楽創生・観阿弥生誕地とされる伊賀を盛り上げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入		225人 1回 —	300人 1回 —	293人 1 —	今回の事実上の初の有料公演。呈茶の催しも付加して来場者数の増加につなげることができた。	継続						98.2%	2.2%	—	—
5	2	三重県総合博物館移動展示in伊賀2024 未来へ伝える伊賀の自然・歴史・文化	・県博、伊賀市教委と共催 ・県上野森林公園など協力	1/19～28 崇広堂	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	自然や歴史が豊富な伊賀市の特色などを、県総合博物館の移動展を通して市民に周知し、併せて博物館では味わえない雰囲気会場を国史跡で感じてもらう。	参加者数 開催数 開催経費 収入		800人 1 360,000円	1,071人 1 305,677円	伊賀の豊かな自然や歴史を伝える移動博物館。正月行事や焼窯について小学生のアンケートを行うなど興味深い博物館展だった。今後も県博と協力して地域の魅力あるイベントを開催できればと思う。	単発						—	—	99.0%	不明	
5	3	郷土の歴史夜咄会	・上野図書館主催（ぶんと共催）	年間7回	1-Ⅰ 3-Ⅱ 5-Ⅰ	以下余白	参加者数 開催数 開催経費 収入			239人 7 —	以下余白	継続						—	—	—	—	

【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信(施策の方向Ⅰ 文化をツールとした地域活性化、Ⅱ 都市の文化的な顔づくり)																ぶんと記載項目(満足度/子ども参加率)							
大分類	小分類	事業名		会場等	プラン 基本方針	R4当初計画 事業目的	R2 計画時	R3 実績	R4 実績			R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性		市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート				R4満足度	R4子供率	R5満足度	R5子供率
																満足度	R1	R2	R3速報値				
6	1	ソロキャンプ体験会 一泊二日キャンプのススメ		6/10-11 岩倉峽公園キャンプ場	1-I 4-I 6-I	ソロキャンプを始めるきっかけとなるよう、陽気の良い時期に開催。キャンプ場の特性を生かした事業とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入		17人 1 92,398円	20人 1 39,600円	18人 1 47,000円	講習では参加者同士が教え合う等のコミュニケーションも図られて好評だった。リピーターもいるため、中級編～上級編とレベルをアップした開催を考える。	継続		4-1 都市政策		15.1%	35.3%	32.9%	100.0%	24.0%	—	—
6	2	大人の手作り体験 和もようのコースターづくり		6/17 岩倉峽公園キャンプ場	1-I 4-I 6-I	日々忙しく生活する日常から離れ、ゆったりと過ごす時間を提供するとともに、木のぬくもりや物づくりの楽しさ、自然豊かな岩倉峽公園キャンプ場の良さを感じていただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	19 1回 151,563円	27人 2回 254,489円	10人 1 25,000円	3人 1 34,236円	参加者が伸びず4人のうち1人が当日欠席だった。しかし参加者の満足度は高いように思う。宣伝の方法を工夫する必要がありと感じた。子供向けに学校に案内できるが、大人向けイベントは周知が難しいと感じた。	継続							100.0%	7.0%	—	—
6	3	ライトアップイベント お城のまわり	・実行委員会に参画	8/11～13 上野城周辺	1-I 2-I 6-I		参加者数 開催数 開催経費 収入			—	2,500人 1 1,276,972円	2日目雨が予報だったため、初日に入場者が集中したが、駐車場等のトラブルはなかった。次年度開催時には旧庁舎が工事中で駐車場が使用できないため、その確保を要する。	継続							—	—	—	—
6	4	ソロキャンプ体験会 大人の林間学校	・共催事業	8/18-19 岩倉峽公園キャンプ場	1-I 4-I 6-I	ソロキャンプ初心者を対象に、安心してキャンプを楽しむでもらい、多くの人に伊賀の自然に触れる機会を提供する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	19 1回 151,563円	14人 2日 130,510円	20人 1 24,500円	14人 2日 15,600円	金曜日の夜からの開催だが、半数が金曜日から参加しており、各自の予定に合わせて参加できるイベントがニーズにもあっているように感じた。	継続		4-1 都市政策					100.0%	7.0%	—	—
6	5	紙を作ろう！ in岩倉峽公園キャンプ場		11/19 岩倉峽公園キャンプ場	6-I 4-I	身近な素材を再利用する紙作りを通して、岩倉峽公園キャンプ場を知ってもらい、利用者増加を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入			20人 1 17,000円	23人 1 22,733円	子どもたちは草花でクリスマスツリーをつくるなど、想像以上に紙遊びを楽しんでいる様子だった。キャンプ場に今回初めて来た参加者もいた。材料を持ち帰って家庭でも作るという家族もいた。	単発							—	—	—	—
6	6	芭蕉生誕380年記念 芭蕉翁記念館・青山讃頌舎合同企画展 絵が先か、俳句が先か	・記念事業とタイアップ ・芭蕉翁顕彰会と連携	1/13～2/18 青山讃頌舎	1-I 2-I 6-I	芭蕉生誕380年記念として、芭蕉翁顕彰会とタイアップした合同企画展として開催。訪れる市民の豊かな感性を育みたい。	参加者数 開催数 開催経費 収入		400人 134,000円	300人 1 110,110円	絵を見て俳句を詠む、俳句を詠んで絵を見る、見方が変わると同じ絵でも異なって見えたり、俳句と絵を一緒に見る事で作者の思いや内容が伝わりやすく、色々な世界が見えて面白い企画展になった。	単発								—	—	99.0%	1.0%
6	7	伊賀上野城下町のおひなさん 雛見茶会	・実行委員会協賛	2/24.25 3/3.4 崇広堂	1-I 2-I 4-II 6-I	伝統的なひな祭りや伊賀焼の器を使って茶道を体験することにより、地域住民の文化振興や生涯学習の推進及び施設の利活用を図ることを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	117人 4日間 95,386円	167人 4日間 179,885円	50人 4日 219,000円	195人 4 125,284円	高校の茶華道部等の協力を得た事業だが、文化祭など学校行事でしか披露の場がなく、貴重な体験ができると思うでもっている。地域を巻き込んだ行事を検討していきたい。	継続							97.0%	15.0%	—	—
6	8	芭蕉さんと、蔵堂湯と、隠密と	・実行委員会と連携	2/26 岸宏子記念伊賀文学館	1-I 6-I		参加者数 開催数 開催経費 収入			20人 1回 54,000円	35人 1 —	東京会場とオンラインで結び開催したが、ネット環境や機材によりスムーズに進行ができなかったこともあった。また、イベント開催時には駐車場が不足する。	単発							—	—	—	—
6	9	忍者道場	・伊賀上野NINJAフェスタに関連	通年 赤井家	1-I 2-I 4-II 6-I	以下余白	参加者数 開催数 開催経費 収入			880人 1 770円	以下余白	継続								—	—	—	—

【基本方針7】文化芸術を通じた社会的課題への取り組み(施策の方向Ⅰ 社会参加のきっかけづくり、Ⅱ 協働の場の創造)																	ぶんと記載項目(満足度/子ども参加率)						
大分類	小分類	事業名		会場等	プラン 基本方針	R4当初計画 事業目的	R2 計画時	R3 実績	R4 実績			R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性		市総合計画 施策	伊賀市まちづくりアンケート				R4満足度	R4子供率	R5満足度	R5子供率
																R1	R2	R3					
7	1	伊賀市文化振興プラン 意見交換会		9/1 伊賀市文化会館	1-I 3-I 3-II 5-II 6-I 7-I 7-II	文化振興プランの推進方法の1つとして、行政、公益文化団体、関係団体・個人などが会する場を設け、中川・審議会長による基調講演および4グループに分かれての意見交換を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入		70人 1回 — —	80人 1 — —	56人 1 — —	子どもや若者たちと文化芸術をつなぐために「を」をメンバーとして、5グループに分かれて次世代育成、体験機会の充実などについて意見交換を行った。最後に全体で集まり各グループで意見交換した内容を参加者間で共有した。	継続						87.0%	86.9% (講演理解度)	79.3%	—	
7	2	福祉領域アウトリーチ事業2023	・かしの木ひろば ・オレンジサロン小田	3/14 3/28 かしの木ひろば、小田地区市民センター	1-II 3-II 7-I 7-II	普段、文化芸術に触れることが困難な障害者や要介護者に音楽を届け、様々な刺激や気づきの中から文化芸術の素晴らしさを感じてもらふ。	参加者数 開催数 開催経費 収入		30人 2 386,000円 —	50人 2 152,857円 —	初めて自主企画として実施した福祉領域へのアウトリーチ。開催してみると参加者に感受性豊かな人が多く、音楽が与える力が感じられた。	継続						—	—	99.6%	0.0%		

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

【資料3】 2024年6月10日現在

【その他事業】														ぶんと記載項目(満足度／子ども参加率)							
番外 1	集まれグラウンドゴルフ仲間！ 第18回集まれグラウンドゴルフ 仲間BUNTO杯	・伊賀市グラウンドゴルフ協会 協力 ・市内企業協賛	4～11月及び 11/16 運動公園競技場 等	1～Ⅰ 4～Ⅰ 7～Ⅰ	家族や友人が一緒になって、スポーツを通して心の ふれあい、仲間づくりを目的として、グラウンドゴルフ の練習及び大会を催す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	延べ1225人 10回 集計中 378,100円	1069+533人 練習15大会1 未確定 388,400円	1,740人 練習15大会1 390,000円 390,000円	1,615人 練習14大会1 375,071円 409,800円	参加者増につながる周知に力を入れたい。大会内 容がマンネリ化しないよう、また参加したいと思われ るような工夫をしたい。他府県へも視察したい。	継続					—	—	—	—	
番外 2	ノルディックウォーキングを体験 してみよう！		7/13 11/15 し らさぎ運動公園	7～Ⅰ 4～Ⅰ	市民の健康増進を図るとともに、ニュースポーツへの 参加意欲の高揚を目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	31人 2回 10,213円 6,200円	60人 2 6,000円 6,000円	24人 2 10,148円 4,800円	ノルディックウォーキングも普及しつつあるた め、ただ体験するだけでは集客に繋がらない状 況。+ α の内容を組み込むなど魅力ある事業に 展開させたい。	継続						—	—	—	—	
番外 3	親子遊び体操		7月～3月 しらさぎ運動公 園	1～Ⅰ 2～Ⅰ	幼児期に適切な運動をすることで丈夫でバランスの とれた体を育みやすくなる。親子で参加して運動習 慣を身につけ、健康的で活動的な生活習慣の形成 に役立ててもら。	参加者数 開催数 開催経費 収入		360組 18回 214,000円 270,000円	582人 18回 235,770円 264,750円	1～3歳頃の子どもと保護者を対象とした新規事 業。冬期は出席率が低くなったが、申込者数は ほぼ定員となり、大変好評を得ている。	継続						—	—	—	—	
番外 4	IGA地域情報交流カフェ (第13回、第14回)	・三重大学伊賀研究拠点、上野商 工会協賛、伊賀市商工会、三重県 産業支援センターと共催	10/12 3/18 ゆめテクノ伊賀	3～Ⅰ 3～Ⅱ 4～Ⅰ 6～Ⅰ	新規創業者や中小事業者などの情報交換やビジネ スマッチングの促進、起業・創業を志す事業者の相 談やサポートを行う。以て、伊賀の産業振興に繋げ る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	51人 2回 77,480円	99人 2回 102,473円	100人 2 102,000円 0円	96人 2 62,083円 0円	ワールドカフェ形式により、参加者同士がより多く交流でき るよう工夫した。テーマについては個々のニーズへの対応 策を検討する必要がある。本事業は伊賀清創業応援者 隊の一環事業であり忍者隊組織内で協議していきたい。	継続						—	0.0%	100.0%	0.0%
番外 5	ぶんとフィットネス教室		通年 しらさぎ運動公 園他	6～Ⅰ 7～Ⅰ	市民の健康増進や新たなエクササイズへの参加意 識を高めるのが目的	参加者数 開催数 開催経費 収入	延べ5,754人 4期ないし5期 2,949,884円	9,100人 4期または5期 2,884,000円	6,565人 4期または5期 2,913,635円	定員数をコロナ禍以前に戻したため、キャンセル待 ちやお断りする事が少なくなったが、一部の人気課 座ではキャンセル待ちの状態だったため、講師と相 談し来年度から定員を増やす予定。	継続						—	—	—	—	